

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨	
12/5 (木)	1	22 横山 強	1、ランドデザインについて	<p>(1)平成30年9月7日一般質問で、讃岐造船跡地だけでなく庁舎周辺を含めたランドデザインと虚偽答弁と、異なった今回のランドデザイン等の問題点等を伺う。</p> <p>(2)高瀬庁舎周辺と讃岐造船跡地のランドデザインの問題点と疑問点等を伺う。</p> <p>(3)高瀬庁舎周辺をランドデザイン実施とする明確な事業予算等を伺う。</p> <p>(4)讃岐造船跡地に関わるランドデザインを、実施とする事業予算等を伺う。</p> <p>(5)(3)(4)ランドデザインによる実施計画は、市民の税金の無駄遣いではないのか、讃岐造船跡地に、今後市民の税金を投入し、市民個々の借金とする問題点等を伺う。</p> <p>(6)高瀬庁舎周辺の民間敷地が、ランドデザインとして計画しているが、その根拠等と、予算計上が確定でない、無謀な実施事業とした問題点を伺う。</p> <p>(7)(5)のランドデザインのアンケートは、少数市民と職員による募り方が正常なのか。これらの大事業の素案評価が適正とした問題点等を伺う。</p> <p>(8)</p> <p>①讃岐造船跡地のランドデザインの中に、企業に誘致とある問題点を伺う。</p> <p>②土壌・ドック等に関わる支出額と、讃岐造船跡地全体が、ランドデザインの通りに完成とした予算計上とする試算について明確な答弁と、疑問点と問題点を伺う。</p> <p>(9)</p> <p>①讃岐造船跡地と高瀬庁舎周辺のランドデザインは、当初にぎわい創造事業の趣旨からかけ離れたランドデザインの問題点等を伺う。</p> <p>②コンサルに船中八策に例えた素案を丸投げとした問題点を伺う。</p> <p>③担当部署の職員による、立案構成とする能力に対する問題点等を伺う。</p> <p>(10)讃岐造船跡地に、これまで約2億円も市民の税金の無駄遣いをした経緯等の問題点を伺う。</p> <p>(11)三豊市政の将来に向けたランドデザインとした構想が、行政部署の職務機能が発揮できないなら、今後民間委託とした、ランドデザイン業務は廃止を、伺う。</p>	
	2	5 浜口恭行	1、MAiZM[マイズム]について	<p>人工知能(AI)を用いて地域課題を解決し、新たな地方創生を目指す「三豊モデル」の拠点となる「東京大学大学院松尾研究室みとよサテライト」が本市財田庁舎内にオープンして半年以上が経つ。三豊市、松尾研究室、香川高専の3者が協力して一般社団法人みとよAI社会推進機構(通称:MAiZMマイズム)での運営が行われている中で、現在は講座等の企画開催によるAI人材育成を軸に据えながら、AIを活用した地域や企業が抱える課題解決の支援、実証実験が順次推進されていると聞く。</p> <p>今後は生産年齢人口の減少により、多くの産業や企業が人手不足に悩みながら将来を模索している中で、課題が顕在化している地方だからこそ、早急な結果を求め、このAI研究拠点への期待も大きいと考える。</p> <p>半年が経ったマイズムの取り組みの成果や運営状況、今後の方向性などについて聞く。</p>	
			2、旧大浜小学校の跡地について	<p>今年度閉校した大浜小学校の跡地について、本市の方針を聞く。</p> <p>地域のイベントや防災拠点なども考慮すれば、地域コミュニティを存続するために、本市のある程度のサポートも必要であると考え。またランドデザインにある「まちづくりの構成要素として、半径2kmの地域コミュニティ単位を想定し、人のつながりとしてのコミュニティを継承・発展させる拠点づくり」への対応は、この地域についてはどのような展開を考えているのかを聞きたい。</p>	
		3	14 金子辰男	1、自然災害に対する教訓及び分析について	<p>今後の大雨などの自然災害に向けての取り組みとして、昨年の大雨での財田川の被害の要因についての調査、検証、対策は十分になされたのか。市内河川の自然災害への対策は十分すぎることがないのが現状であり、全国、河川の大災害を教訓として取り組んでいけているのかを伺う。</p>
			2、シルバー人材センターについて	<p>シルバー人材センターの活性化に向けて、今までの会員数の推移、男女の比率は。会員数が減少している現状について伺う。現状での仕事内容や利用者のニーズについて具体的に伺う。また、これからのシルバー人材センターの役割や取り組みを伺う。</p>	
			3、教職員間のトラブルについて	<p>神戸市の小学校で同僚教師のいじめが発覚した。子供達、保護者、教育現場に与えた影響は極めて深刻である。その後、他の地域でも教師間のいじめが表面化してきている。教育委員会などトップには言えない問題が発生してはいないのか。三豊市の学校教育の現場では問題はないのかを改めて検証し、健全な学校教育の場を作っていただきたい。現状と見識を伺う。</p>	

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/5 (木)	4	7 西山彰人	1、職員の職務の在り方について	終わった職務の記録(職員の議論や決定までの経過、および総括)が後から確認できるのか伺う。 例として、職員の懲戒処分に伴う和解と地域内分権推進事業について。
			2、市民の要望の取り扱いについて	市民からの要望や陳情の決定過程を伺う。
	5	2 高木 修	1、今年度瀬戸芸の総括と、その成果に基づく、三豊市としての今後の展開について	瀬戸内海は、今や日本有数の観光地を超え、世界的な存在として注目を集めている。 今年度「瀬戸内国際芸術祭」も盛況に閉幕したと聞くが、来場者数、経済効果、課題等について、全体分・三豊市分の総括、あわせて次回への課題・展開策についてたずねる。
			2、人材育成の推進について	人材育成に関して、いくつかの制度創設提言をさせていただく。 (1)スキルアップ、新規採用等により、職員と議員の一層の国際化対応力を強化してはどうか。 (2)三豊市一般職員採用において、国籍条項は存在するか。(質問) (3)語学研修教室を開設し、費用の半額程度を補助する。全体の語学力の底上げを図る。 (4)お互いの利点を学習しあうため、民間企業との人材交流を推進する。期間は、2年程度。
			3、企業誘致の促進について	企業誘致は、若者の仕事の場確保、ひいては定住促進のキーになると考えるが、「企業誘致奨励金制度」の過去3年間の利用実績と、今後の促進策をたずねる。
			4、バイオマスの今後の展開について	CO2削減に大きく貢献する、日本初のトンネルコンポスト方式としてスタートし、注目を集めて他自治体からの視察も多いと聞く。 現在、バイオマス資源化センターで、三豊市内の燃えるゴミの何割が処理出来ているのか、さらに、次の展開をどのように考えているのかについてたずねる。
	6	12 丸戸研二	1、包括的子育て支援について	(1)子育て環境の変化をどう見ているか。 (2)現状の子育て支援策の課題は何か。 (3)包括的子育て支援が必要ではないか。 ・「子育て世代包括支援センター」の具体化
			2、有害鳥獣対策について	(1)現時点の被害状況と捕獲について。 (2)地域ぐるみ鳥獣被害防止対策事業の見直しについて。 (3)捕獲奨励金について。
			3、自治会振興について	(1)市行政と自治会の関係について。 (2)自治会加入状況について。 (3)自治会振興について。 ・自治会集会所建設事業の見直しについて。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/6 (金)	7	4 田中達也	1、地域事業者へのキャッシュレス決済浸透策について	10月の消費税引き上げに伴い、需要平準化対策とキャッシュレス決済の普及を目的として、キャッシュレス・ポイント還元事業が始まっている。観光入込客数が大幅に増加している三豊市においては、キャッシュレス決済のさらなる普及が求められる。普及状況の現状と、三豊市としての対応を問う。
			2、三豊市の情報発信について	三豊市は本年度、公式Webサイトをリニューアルすべくプロポーザルを経て制作委託を行なっているが、スマートフォンが普及した今、自治体の情報発信はWebサイトのようなプル型メディアだけでは不十分であり、受け手が求める情報をプッシュ型で配信していく必要がある。さらには、市民との双方向のやり取りにまで発展していかなければならない。デジタルファーストを掲げる山下市長の考えを問う。
			3、投票率向上のための取り組みについて	公職選挙における投票率の低下は、三豊市にとって大きな課題であると考え。今後の投票率向上に対する取り組みについて、選挙自体への工夫に加え、子どもたちへの主権者教育について問う。
	8	16 瀧本文子	1、子ども未来応援ネットワークについて	来年度に向け「子育て世代包括支援センター」の機能の充実・強化が図られることになる。妊娠期から出産後18歳までの子どもの包括的な支援を目標に、総合的かつワンストップでの対応に、舵を切ることになる。児童虐待、いじめ、子どもの発達障害、不登校、引きこもりなど、こども・若者の問題が大きく社会問題化し、それらへの支援・対応は、行政はじめ社会全体にとって、喫緊の課題である。来年度以降取り組まれる事業内容等について問う。
			2、家庭教育支援について	近年の核家族化、地域とのつながりの希薄化、親の孤立化、ネット等による子育て情報の氾濫などにより、だれにも頼れず、戸惑いながら子育てをしている親御さんが数多く存在する。地域の中で子供を通じた付き合いが減少していると指摘されている。文科省は子育ての悩みや不安を抱えたまま、保護者が孤立してしまうなど、家庭教育が困難な状況にあると指摘し、第3期教育振興基本計画のなかで多様化する家庭環境に対して、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりを提案している。家庭教育支援員の人材育成や、訪問型家庭教育支援の充実を図り、課題を抱える家庭やその親子に対して、支援を強化するよう呼び掛けている。家庭教育支援について教育委員会はどのような見解をお持ちでしょうか。また三豊市において、この支援事業の現状と課題について見解を聞く。
	9	3 湯口 新	1、第2次総合計画について	(1)人口目標への現状と対策、これからの考え方を聞く。 (2)今後の計画執行について、人材の育成状況を聞く。 (3)新しい子育て支援センターの考え方を聞く。
			2、受付業務の改善について	(1)受付業務のワンストップ化を目指す考えはあるか聞く。 (2)ラインなどでの受付業務を導入する考えはあるか聞く。
			3、子ども食堂について	学校施設を利用した子ども食堂の開催を可能にすることにより、不登校問題や子どもの貧困問題の解決を目指してはどうか、質問する。
			4、eスポーツの推進とネット依存症について	eスポーツの推進はネット依存症などこれからの社会課題を解決する手段にもなり得ると考えるがいかか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/6 (金)	10	21 為広員史	1、土砂崩れ等危険箇所に対する対応について	特に陣山工業団地等の急傾斜地について。
			2、公共施設の建て替え等の考え方について	耐震のない施設の建て替えについて聞く。 特に詫間支所のように緊急性のある施設について。
			3、6月議会で質問をした件について	火葬場の休場日の変更と三豊クリアプラザの取り壊しについて。
	11	1 近藤 武	1、まちづくりについて	市の施策・政策で補助金の額も相当な額になっている、まちづくりについて補助金に頼らない資金の活用としてSIBの導入を早急にするべきであると考えているが、市の考えを聞く。
			2、農業振興計画について	農業振興計画が改定されようとしている、前期の達成率は7割程との報告があった。後期は三豊市として特色あるどのような取り組みをしていくのかを聞く。
			3、クールビズについて	地球温暖化対策の一環として、2005年から政府が提唱する冷房時の設定温度室温28℃は、労働環境を考えるとマイナスの方が大きいと考えるが、三豊市の考えを聞く。
12/9 (月)	12	8 水本真奈美	1、健康寿命の延伸について	(1)フレイル(加齢による心身の虚弱)予防の更なる取り組みと充実 (2)がんの早期発見 ①乳がんマンモグラフィ検査と超音波検査の併用、また自己検診用乳がんグローブ活用について。 ②乳幼児健診における小児がんの早期発見について。 (3)検診率向上、健康増進の取り組みとして健幸アンバサダー養成についての考えを伺う。
			2、災害時要援護者と福祉避難所について	(1)災害時要援護者登録の現状と課題 (2)福祉避難所への避難対象者数と受け入れ態勢 (3)福祉避難所の運営マニュアル策定、訓練の現状 (4)人的支援、物資の支援体制 (5)障がい者(オストメイト)用トイレの備蓄について伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (月)	13	9 込山文吉	1、SDGsの取り組みについて	SDGsへの取り組みについて考えを聞く。 (1)SDGsと連動する「society5.0」の推進についての考えを聞く。 (2)SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくりについて。 ① まち・ひと・しごと基本方針/総合戦略におけるSDGs推進の考えを聞く。 ② 国土強靱化地域計画とSDGs推進についての考えを聞く。
			2、公共工事の平準化について	債務負担行為の積極的活用について。 (1) 道路の舗装工事や修繕工事等短期事業にも債務負担行為を設定し、年度をまたぐ発注ができるようにする必要があると考える。考えを聞く。 (2)「ゼロ市債」の活用で公共工事の平準化が図れるのではないかと考える。考えを聞く。 (3)「フレックス工期契約制度」や「早期契約制度」などの活用についての考えを聞く。
			3、市税等の債権管理について	市税及び税外滞納債権の現状と回収の取り組みについて、不納欠損額が少し好転の兆しはあるが、いまだ多くの欠損が時効で処理されている。 (1) 広域組合に依頼をしていることは承知しているが、回収の状況と課題を聞く。 (2) 今後債権回収に向けての人材育成等の取り組みを聞く。
	14	10 市川洋介	1、今後の三豊市観光交流局の在り方について	平成29年に観光協会と国際交流協会を解散し、三豊市観光交流局を設立してから3年目となっている。組織を統合し観光交流局を設立した当初、先ずは組織を身軽にすること、直営することで民間移行を進めていくとしていたが、その後の計画はどうか。民間でできることは民間でとした計画を問う。また昨年からの部長会でも観光交流局の在り方について議論されたと聞くが、結果はどうか。その結果を踏まえて、今後の観光交流局の在り方について問う。
			2、移住定住施策の促進と労働力の確保について	次の時代に向けた新たなまちづくりのロードマップとなる第2次総合計画を昨年12月に策定し、人口目標63,500人プラスとし、今後のまちづくりに取り組む中、移住定住施策は重要施策と考える。これまでの成果と今後の施策について問う。また関係人口を増加させる取り組みの中、三豊市での仕事をマッチングさせ、その機会を増やしていくことで人口増につなげるとした今後の計画について問う。
			3、スマートフォンゲーム依存による健康障害について	ゲーム障害は、WHO(世界保健機関)では、2019年5月に国際疾病分類に加えられた。未成年におけるゲーム障害は前頭前野の働きが十分発達していないため、ゲーム障害が起こる。 三豊市における現状を問う。スマートフォンゲーム依存と不登校と引きこもりの関連等について。
	15	13 岩田秀樹	1、地域の農業振興について	今の農業振興は、個人に対する振興で個人がやめれば終わる。 農業振興は、地域で進める農業にすることの必要性について。
			2、国民健康保険税の引き下げを	高い国保税を協会けんぽ並の保険税に引き下げる。 子どもの均等割をなくする。
			3、健康づくりと健康寿命の延伸の取り組み	市を挙げたウォーキングの取り組み ウォーキングロードの設定 健康寿命の延伸、医療費の減少
			4、ふれあいパークみの改修工事の取り組みについて	施設設備改修の目的としている、温浴施設として市民への福祉増進や地域貢献は図れているか。指定管理者・従業員のためか。年末・正月に向けての取り組みは。避難場所機能はどうするのか。
			5、防災対策について (水害を中心として)	ハザードマップと公共施設の配置について。 避難場所が危険区域と重なっていないか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和元年第4回定例会

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
12/9 (月)	16	6 三木秀樹	1、三豊市の7色を破壊する現市長が決定したグランドデザインの「真意」を聞く	<p>人口減少、高齢化、将来財源の悪化の懸念の中、第2次総合計画(上位法)を覆す山下市長の今後10年間の戦略的計画(グランドデザイン)について数点聞く。</p> <p>(1)グランドデザインは、「完成品」で議員の変更要求は受け入れないのか。</p> <p>(2)グランドデザインの中で、市民・職員、市政関係者等からの声として「新しい発想」が巧みに編集され、意識的に合併以来の「旧7町をベースに」「各地の均等発展」を反故にしているのは山下市長の見解か。</p> <p>(3)各種「拠点づくり」計画としているが、地域コミュニティー拠点以外は、高瀬町と詫間(造船所跡地)と意識的に誘導する計画になっている点を聞く。</p> <p>(4)「検討する」とした計画項目が多数ある中で、「建設する」と明記している高瀬駅舎及び本庁周辺の計画の「違和感性」を具体的に聞く。</p> <p>(5)人口減少が著しい「荘内半島」・詫間と高瀬ゾーニングは意識的に計画を創っているが、「広大な(本文に有り)東南部エリア」の計画はオンデマンド公共交通以外何もない。それも市長の考えを「付度した」方針か。</p> <p>(6)何故、大手「電通」にグランドデザインの作製委託をしたのか、何故、電通の「幹部」を三豊市の審議官として任命し、かつ政策部長席に隣接して「審議官席」を配置したのか。</p>
			2、家庭でのオンラインゲームに「はまって」、やめるにやめられないゲーム依存症の実態を聞く	<p>ゲーム依存症はWHOで「病気である」と位置付けられたが、関係部署で把握している市内における実態と対策を聞く。</p> <p>ゲーム依存症は、「進行性があり、自然治癒がなく、早い段階で治療しないと最後は“社会的廃人”になったり、引きこもったりして、社会生活が送れなくなる。自殺してしまう人も少なくない。」等々と報道されている。教育委員会には、把握している児童学生の実態、健康福祉には、ひきこもり等での親からの相談状況等を聞く。</p>